



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー-C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 片野 一雄

幹事 井上 浩吉

第2306回 例会

平成26年11月27日 (晴) No.20

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：手に手つないで

◇プログラム 12月4日：ゲストスピーカー原貫太さん・理事会・12月11日：ゲストスピーカー小玉千織さん

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2306回	19(17)	10	58.82%	—	—
2304回	19(17)	8	47.09%	1	52.94%

◇欠席者(7名) 小林、宮澤、石山、太田
河本、片野、原さん

◇メークアップ(1名) 新宅さん

◇おめでとうございます



結婚記念日祝
大堀 昭二さん
(11/15)：

立派なお花を
いただきました。
ありがとうございます。
50年
目です。妻は1

00歳の老母と老々介護で格闘中でついつい忘れて
いたようですが、RCからお花がとどいてハット気
づいたようです。私はケーキを買いに走り、夕食ど
きにケーキカットして、老母ともどもささやかに金
婚を祝いました。

誕生日祝：

大堀昭二さん(11/7)

お祝いありがとうございます。喜寿もあつというまに
過ぎて78歳です。「人生とは途中で終わるもの。日
々のベストを尽くすだけです。人間の力の及ばないこ
とは大なるものにお任せします」。これは、今は亡
きある有名な禅僧の100歳のときの言葉です。まだ
まだ若輩者ですが、傘寿、さらには米寿に向かって

「日々のベスト」を心がけたいと思っています。

田中 敏治さん(11/23)

お祝いありがとうございます。勤労感謝の日の祝日
が誕生日です・・・47歳になりました。



◇会長報告

守屋 紀忠会長

本日の卓話は大堀先
生です。よろしくお
願いします。先日の
朝日新聞の湘南地域
の記事に青春スクロ
ール母校群像記とい



う紙面に湘南高校出身の「一番の著名人」に元東京都知事で衆院議員、作家の石原慎太郎（82、1952卒）である。

「悪名高いから、俺は」と笑う石原は10代の時の自作画集を開き「人生を開いてくれた」という恩師の美術教師の写真を指した。（奥野肇先生）

◇幹事報告

井上 浩吉幹事

・2014年12月のロータリーレートは1ドル112円
尚11/28（金）までに着金及び送金明細書を送付分は11月レート（106円）



・ロータリー財団への寄付金の緊急事務連絡1人1万円以上をお願いします。今日迄です。

◇委員会報告

☆スマイルボックス

笹尾 政儀さん

・守屋紀忠さん：大堀さん卓話よろしくお願ひします。又、結婚記念日（11/15）誕生日（10/16）合わせておめでとうございませう。田中さん誕生日（11/23）おめでとうございませう。



・井上浩吉さん：大堀さん、田中さん誕生日おめでとうございませう。大堀さん卓話楽しみです。

・笹尾政儀さん：田中さん誕生祝お目どうございませう。大堀さん結婚記念日を祝福します。大堀さん卓話楽しみにして居ませう。

・大堀昭二さん：今日は真白い富士山をみながら参りました。田中さんお誕生日おめでとうございませう。

・百瀬恵美子さん：大堀さん御誕生日結婚記念日Wでおめでとう。田中さん御誕生日おめでとう。

・田中敏治さん：大堀さん結婚記念日おめでとうございませう。卓話、宜しくお願ひ致します。



◇卓話

◆◆◆坂本堤弁護士事件、

そして瀧澤秀俊弁護士のことなど◆◆◆

大堀 昭二さん



坂本堤弁護士事件については、皆様よくご存知のことと思います。もう、25年も前のこととなります。このたび、友人の瀧澤秀俊弁護士が、日本弁護士連合会（日弁連）の機関雑誌「自由と正義」の11月号に、「あなたは坂本弁護士事件を知っていますか？—あれから25年、最悪の業務妨害を忘れない—」と題する寄稿文をよせています。お手元の資料がそれです。瀧澤弁護士は、藤沢RCの会員でもあります。数年前に藤沢RCの会長を務めました。また、次年度ガバナー補佐の予定と聞いています。

彼のこの寄稿文には「最近、若手弁護士に事件のことを尋ねると『子どものころニュース見たような・・・』という反応が多い。そろそろ事件後に生まれた弁護士も出てくるであろう。当時約1万3000人だった日弁連会員は、今やその3倍近くにまで飛躍的に増加している」とあり、こうした若い弁護士に少しでも知っておいて欲しいということで、この文を寄稿しています。

坂本弁護士事件の経緯はこれをお読みいただくとして、実は、私は、今は亡き坂本弁護士、そして瀧澤弁護士とは、ごく親しい友人のうちの1人です。そのことを少しお話しをさせていただきます。新しい会員の方もいらっしゃいますので、私のインシエーションスピーチの一部というようなことで聞いていただければとも思います。時間があれば、現在私が手がけている裁判事件のこともお話しをしたいとも思います。

私は、丁度30年前の48歳のとき、司法試験に合格しました。その年の合格者は500名弱でしたが、その合格者の中で、私が最高年齢者でした。司法試験に合格すると司法研修所に入り2年間の研修

をします。その際、10クラスに分かれます。1クラス50名です。その同じクラスに坂本さん、瀧澤さんもいたのです。彼らとの出会いはまったく偶然のことでしたが、今にして思うと、私にとっては、色々な意味で感慨深いものがあります。当時、坂本さん30歳くらい、瀧澤さんは25歳くらいでした。爾来、彼らとはクラスメートとしての付き合いが始まります。2年間の研修の後、私は弁護士になりました。裁判官、検事として任官する者もいるわけですが、坂本さん、瀧澤さんも弁護士になりました。

坂本さんのことであると思ひ出すことがいくつもあるのですが、二つ三つ申し上げます。司法研修所の教室で、最初の自己紹介のとき、彼は「私は『さかもと つつみ』です。『つつみ』は堤防の『堤』と書きます。堤防は洪水から大勢の人々を守ります。父親につけてもらった名前です」と、にこにこしながら誇らしげに語っていた姿を今も昨日のように鮮明に覚えています。彼は修習期間中に都子さんと結婚しましたが、坂本夫婦とは、一緒に何度か新橋の Snackbar でカラオケを熱唱したこともありました。これは楽しい思い出になっています。私の法律事務所の開所パーティーのときですが、彼は、当日、仕事の都合で来れませんでした。その数日後のこと、彼は山形県産のサクランボをもって事務所を訪ねてきてくれました。彼曰く「事務所開設おめでとうございます。お祝いです。農林省の地下売場で買ってきました。安くて非常においしいんですよ」といって持ってきてくれたのです。気持ちのこもった、彼らしいプレゼントだなあと思いました。美味しいサクランボでした。私は、サクランボを食べるときいつもこの時のことを思い出します。

坂本さんは、司法研修所を卒業して、その弁護士人生をスタートさせました。しかし、その2年後に坂本弁護士事件に遭遇してしまいます。この事件は、平成元年11月4日、坂本一家3人の失踪事件として始まりました。しかし、平成7年9月、一家3人は新潟・富山・長野の山中で無残な姿で発見されます。その半年前には、地下鉄サリン事件が発生してしまいます。その経緯は、お手元の資料を読んでもとよくわかります。優秀で正義感のめちゃくちゃ強い弁護士でした。オウムに真っ正面から挑み、その化けの皮をはがしたのは彼でした。彼のこの闘いがなければ、サリンを東京の空からまく計画まで画策していたオウムの手による惨劇は我々を襲っていたかも知れません。彼の闘いとその死はその名前どおりに洪水から人々を守るまさに「堤」となったのだと思えてなりません。

そして、瀧澤弁護士は、事件未解決の期間はその救出活動の中心的役割を担うことになりました。そして、事件の終了後も、弁護士業務妨害の問題（坂本事件がその原点になっています）に関わり続け、今なおその活動の中心にあり、現在、日弁連において弁護士業務妨害対策委員会副委員長の重責を担っているわけです。

実は、修習時代のクラスメート中心でゴルフの会を立ち上げています。会の名称は「大堀会」といいます。最年長者である私をたててくれたの命名です。このゴルフ会はもう20年くらいつづいています。昨年は、私の喜寿の祝いに瀧澤さんが音頭をとって会から高価なゴルフクラブ（ドライバー）をプレゼントしていただきました。

瀧澤さんは、気は優しく力持ちです。そして、文武両道です。因みに、ゴルフはアマチュアとしてはトップレベルです。冷静沈着、頭脳明晰、こんな言葉がぴったりの人物です。私は、「いずれ瀧澤先生をRC2780地区のガバナーにと」ひそかに願っています。まったくもって、最高の適格者であると確信するからです。しかし、多分、彼にとっては大変すぎると思います。体力、気力、ハートどれをとっても太鼓判です。が、問題は経済的な支援の面です。事業家、会社経営者ならともかく、弁護士は、基本的には一匹狼ですから、その点だけが心配なのです。それはともかくとして、彼には「世のため人のために」ロータリアンとしても今後ますますのご活躍を願うや切です。大磯RCの皆様にも、是非、瀧澤秀俊という弁護士の名前をインプットしていただき、今後のご支援、ご鞭撻をお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

話は変わって、現在進行中の裁判事件のことです。

相変わらず離婚、男女のトラブル、そして、遺産をめぐる争いも多いです。いずれも、家族、肉親の争いです。時間がないので、ひとつだけご紹介します。

この夫婦は、携帯電話の「恋の占い」サイトで知合った遠距離恋愛（横浜と仙台）の末の結婚でしたが、10年で破綻したケースです。ステップファミリー（連れ子との親子関係）の問題を含んだ難しい離婚事件です（生々しい内容は、オフレコにさせていただきます）。

私は相変わらず事件と悪戦苦闘している毎日です。同時に体力の衰えとの闘いも実感しています。しかし、まだまだ現役で頑張る気力はあります。ひきつづきよろしくお付き合いのほどお願い申し上げます。

以上